

## 4

## NEC Express5800シリーズ

## 運用・保守編

本装置の運用および保守について説明します。

**日常の保守 (226ページ)**

本装置を日常使う上で確認しなければならない点やファイルの管理、クリーニングの方法について説明します。

**システム診断 (232ページ)**

本装置専用の診断ユーティリティの使い方について説明します。

**障害時の対処 (235ページ)**

故障かな？と思ったときに参照してください。トラブルの原因の確認方法やその対処方法について説明しています。

**保守ツール (→266ページ)**

本装置は添付の「EXPRESSBUILDER」DVDに格納されているオフライン保守ユーティリティをサポートしていませんが、代わりとなる保守ツールが格納されています。ここでは保守ツールの使い方について説明します。

**移動と保管 (268ページ)**

本装置を移動・保管する際の手順や注意事項について説明します。

**ユーザーサポート (269ページ)**

本装置に関するさまざまなサービスについて説明します。サービスはNECおよびNECが認定した保守サービス会社から提供されるものです。ぜひご利用ください。

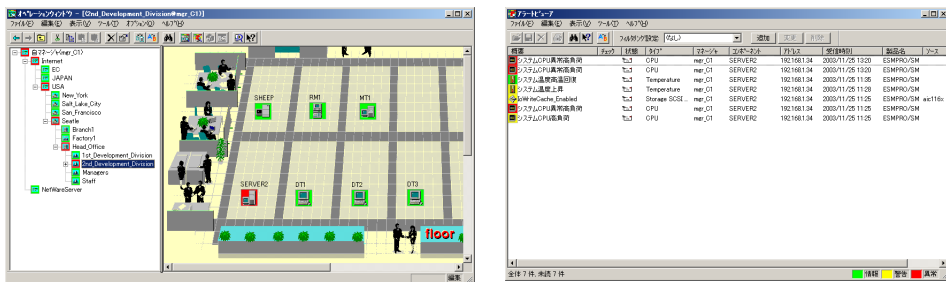
## 日常の保守

本装置を常にベストな状態でお使いになるために、ここで説明する確認や保守を定期的に行ってください。万一、異常が見られた場合は、無理な操作をせずに保守サービス会社に保守を依頼してください。

## アラートの確認

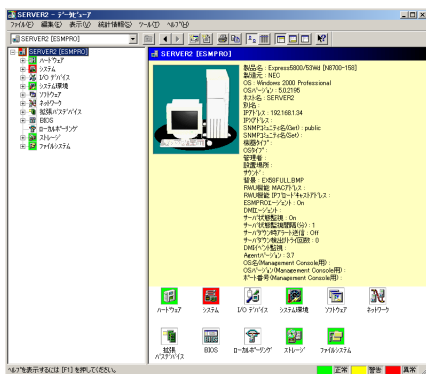
システムの運用中は、ESMPROで障害状況を監視してください。  
管理PC上のESMPRO/ServerManagerにアラートが通報されていないか、常に注意するよう心がけてください。ESMPRO/ServerManagerの「統合ビューア」、「データビューア」、「アラートビューア」でアラートが通報されていないかチェックしてください。

## ESMPROでチェックする画面



## 統合ビューア

アラートビューア




データビューア


# バックアップ

定期的に本装置のハードディスクドライブ内の大切なデータをバックアップすることをお勧めします。本装置に最適なバックアップ用ストレージデバイスやバックアップツールについてはお問い合わせください。

## クリーニング


本装置を良い状態に保つために本装置を定期的にクリーニングしてください。


 **警告**



装置を安全にお使いいただくために次の注意事項を必ずお守りください。指示を守らないと人が死亡する、または重傷を負うおそれがあります。詳しくは、iii ページ以降の説明をご覧ください。

- 自分で分解・修理・改造はしない
- リチウム電池を取り外さない
- 電源プラグを差したまま取り扱わない
- 電源プラグを接続したままアース線の取り付けや取り外しをしない
- 光ディスクドライブの内部をのぞかない

 **注意**



装置を安全にお使いいただくために次の注意事項を必ずお守りください。火傷やけがを負うおそれや物的損害を負うおそれがあります。詳しくは、iii ページ以降の説明をご覧ください。

- 高温注意

## 本体のクリーニング

本装置の外観の汚れは、柔らかい布でふき取ってください。汚れが落ちにくいときは、次のような方法できれいになります。



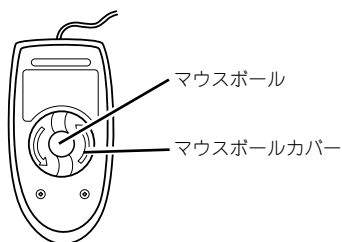
- シンナー、ベンジンなどの揮発性の溶剤は使わないでください。材質のいたみや変色の原因になります。
- コンセント、ケーブル、本体背面のコネクタ、本体内部は絶対に水などでぬらさないでください。

1. 本装置の電源がOFF（POWER/SLEEPランプ消灯）になっていることを確認する。
2. 本装置の電源コードをコンセントから抜く。
3. 電源コードの電源プラグ部分についているほこりを乾いた布でふき取る。
4. 中性洗剤をぬるま湯または水で薄めて柔らかい布を浸し、よく絞る。
5. 本装置の汚れた部分を手順4の布で少し強めにこすって汚れを取る。
6. 真水でぬらしてよく絞った布でもう一度ふく。
7. 乾いた布で水気をふき取る。
8. 乾いた布で背面にあるファンの排気口に付着しているほこりをふき取る。

## キーボード/機械式マウスのクリーニング

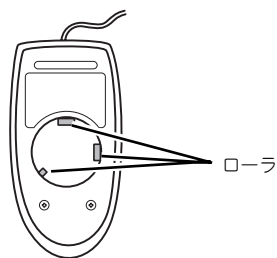
キーボードは本装置および周辺機器を含むシステム全体の電源がOFF（POWER/SLEEPランプ消灯）になっていることを確認した後、キーボードの表面を乾いた布で乾拭きしてください。マウスが正常に機能するためには、内部のマウスボールがスムーズに回転できる状態であればなりません。マウスボールの汚れを防ぐためにほこりの少ない場所で使用して、定期的に次の手順でクリーニングしてください。

1. 本装置の電源がOFF（POWER/SLEEPランプ消灯）になっていることを確認する。
2. マウスを裏返してマウスボールカバーを反時計回りに回して中からマウスボールを取り出す。



マウス底面

3. マウスボールを乾いた柔らかい布などでふいて、汚れを取り除く。  
 汚れがひどいときはぬるま湯または水で薄めた中性洗剤を少量含ませてふいてください。
4. マウス内部にある3つの小さなローラを綿棒などでふく。  
 汚れがひどいときはアルコールなどを少量含ませてふいてください。



5. マウスボールをマウスの中に戻す。  
 手順3、4でマウスボールやローラをぬらした場合は、十分に乾燥させてからボールを入れてください。
6. マウスボールカバーを元に戻して、時計回りに回してロックする。

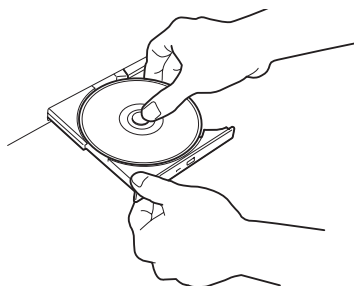
## 光ディスクドライブのクリーニング

光ディスクにほこりがついていたり、トレイにほこりがたまっていたりするとデータを正しく読み取れません。次の手順に従って定期的にトレイ、ディスクのクリーニングを行います。

1. 本装置の電源がON（POWER/SLEEPランプ点灯）になっていることを確認する。
2. ドライブ前面のトレイジェクトボタンを押す。  
トレイが少し出てきます。トレイを軽く持って手前に引き出し、トレイが止まるまで引き出す。
3. 下図のように、片方の手でトレイを持ち、もう一方の手でトレイの中心にある駆動軸部分を押さえながらディスクの端を軽くつまみ上げるようにしてトレイから取り出す。



ディスクの信号面に手が触れないよう注意してください。



4. トレー上のほこりを乾いた柔らかい布でふき取る。

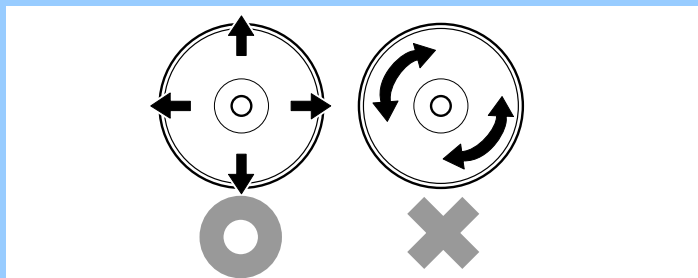


光ディスクドライブのレンズをクリーニングしないでください。レンズが傷ついて誤動作の原因となります。

5. トレーの前面を軽く押して元に戻す。
6. ディスクの信号面を乾いた柔らかい布でふく。



ディスクは、中心から外側に向けてふいてください。クリーナをお使いになるときは、専用のクリーナであることを確かめください。レコード用のスプレー、クリーナ、ベンジン、シンナーを使用すると、ディスクの内容が読めなくなったり、本装置にそのディスクをセットした結果、故障したりするおそれがあります。



## DVD Super MULTIドライブのクリーニング

DVD Super MULTIドライブのレンズクリーニングについて説明します。



- レンズには直接触れないよう注意してください。
- 市販のレンズクリーナーや組込用 H/H DVD Super MULTIに添付されているレンズクリーナーは使用しないでください。

### クリーニング時期

クリーニングはデータの読み書きが正しくできず、レンズにほこりが付いているときに行ってください。

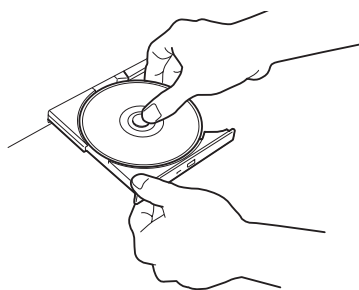
### クリーニング方法

クリーニング手順は次のとおりです。

1. 本装置の電源をON(POWER/SLEEPランプ点灯)にする。  
通常に稼動している状態でクリーニングをします。
2. DVD Super MULTIドライブのアクセスランプが点灯していないことを確認し、イジェクトボタンを押してトレイを引き出す。
3. トレーにディスクがセットされている場合は、下図のように片方の手でトレイを持ち、もう一方の手でトレイの中心にある駆動軸部分を押さえながらディスクの端を軽くつまみ上げるようにしてトレイから取り出す。



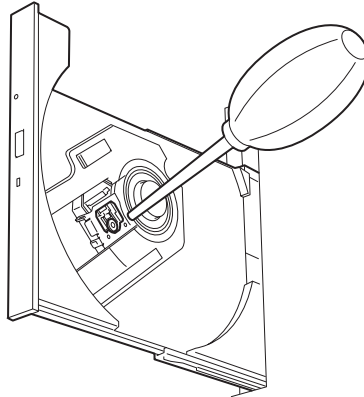
ディスクの信号面に手が触れないよう注意してください。



4. カメラ用のレンズブローアなどを使ってレンズに付着したほこりに向かって軽く風を吹きかけてほこりを取り除く。



- ブローアがレンズに触れないよう注意してください。
- 手や布などで直接レンズをクリーニングしないでください。



5. トレーを押して元に戻す。



レンズクリーニングしてもデータの読み書きに問題が生じる場合は、他の原因が考えられます。保守サービス会社に保守を依頼してください。

# システム診断

システム診断は装置に対して各種テストを行います。

「EXPRESSBUILDER」の「Tool menu」から「Test and diagnostics」を選択して診断してください。

## システム診断の内容

システム診断には、次の項目があります。

- 本装置に取り付けられているメモリのチェック
- CPUキャッシュメモリのチェック
- システムとして使用されているハードディスクドライブのチェック



システム診断を行う時は、必ず本装置に接続しているLANケーブルを外してください。接続したままシステム診断を行うと、ネットワークに影響をおよぼすおそれがあります。



ハードディスクドライブのチェックでは、ディスクへの書き込みは行いません。

## システム診断の起動と終了

次の手順でシステム診断を起動します（システムが運用中の場合は、シャットダウンし、再起動できる状態にした後で手順1～12を行ってください）。

1. シャットダウン処理を行った後、システムの電源をOFFにし、電源コードをコンセントから抜く。
2. 本装置に接続しているLANケーブルをすべて取り外す。
3. 電源コードをコンセントに接続し、システムの電源をONにする。
4. 「EXPRESSBUILDER」DVDを使ってシステムを起動する。
5. 「Tool menu」を選択する。



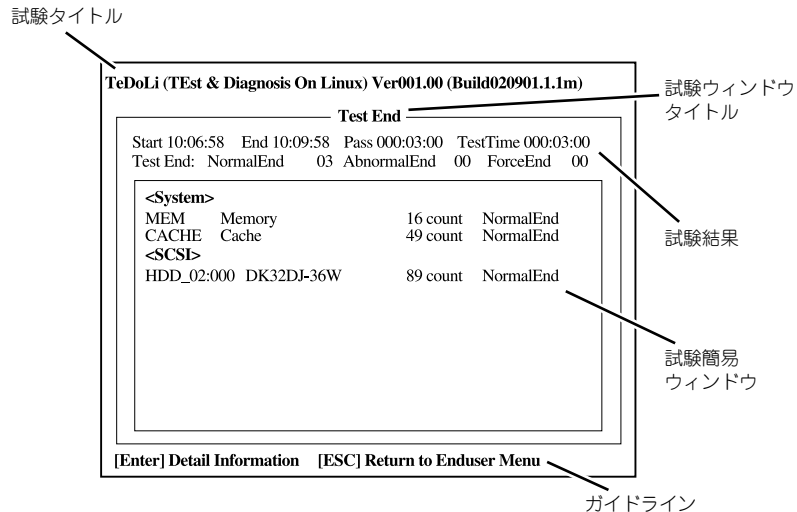
システムによっては、Language selectionメニューが表示される場合があります。Language selectionメニューが表示された場合は「Japanese」を選択します。



## 6. TOOL MENUの「Test and diagnostics」を選択する。

Test and diagnosticsの「End-User Mode」を選択してシステム診断を開始します。  
約3分で診断は終了します。

診断を終了するとディスプレイ装置の画面が次のような表示に変わります。



### 試験タイトル

診断ツールの名称およびバージョン情報を表示します。

### 試験ウィンドウタイトル

診断状態を表示します。試験終了時にはTest Endと表示します。

### 試験結果

診断開始・終了・経過時間および終了時の状態を表示します。

### ガイドライン

ウィンドウを操作するキーの説明を表示します。

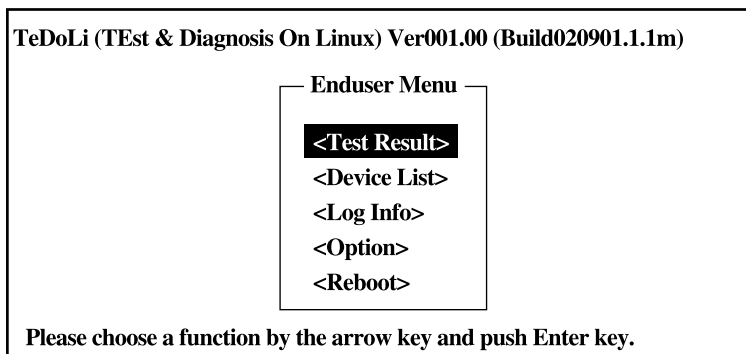
### 試験簡易ウィンドウ

診断を実行した各試験の結果を表示します。カーソル行で<Enter>キーを押すと試験の詳細を表示します。

システム診断でエラーを検出した場合は試験簡易ウィンドウの該当する試験結果が赤く反転表示し、右側の結果に「Abnormal End」を表示します。エラーを検出した試験にカーソルを移動し<Enter>キーを押し、試験詳細表示に出力されたエラーメッセージを記録してお買い求めの販売店、または保守サービス会社に連絡してください。

7. 画面最下段の「ガイドライン」に従い、<Esc>キーを押す。

以下のエンドユーザーメニューを表示します。



**<Test Result>**

前述の診断終了時の画面を表示します。

**<Device List>**

接続されているデバイス一覧情報を表示します。

**<Log Info>**

試験ログを表示します。試験ログをフロッピーディスクへ保存することができます。フロッピーディスクへ記録する場合は、フォーマット済みのフロッピーディスクをフロッピーディスクドライブにセットし、<Save(F)>を選択してください。

**<Option>**

オプション機能が利用できます。

**<Reboot>**

システムを再起動します。

8. 上記エンドユーザーメニューで<Reboot>を選択する。

再起動し、システムがEXPRESSBUILDERから起動します。

9. EXPRESSBUILDERを終了し、光ディスクドライブからDVDを取り出す。

10. システムの電源をOFFにし、電源コードをコンセントから抜く。

11. 手順2で取り外したLANケーブルを接続し直す。

12. 電源コードをコンセントに接続する。

以上でシステム診断は終了です。

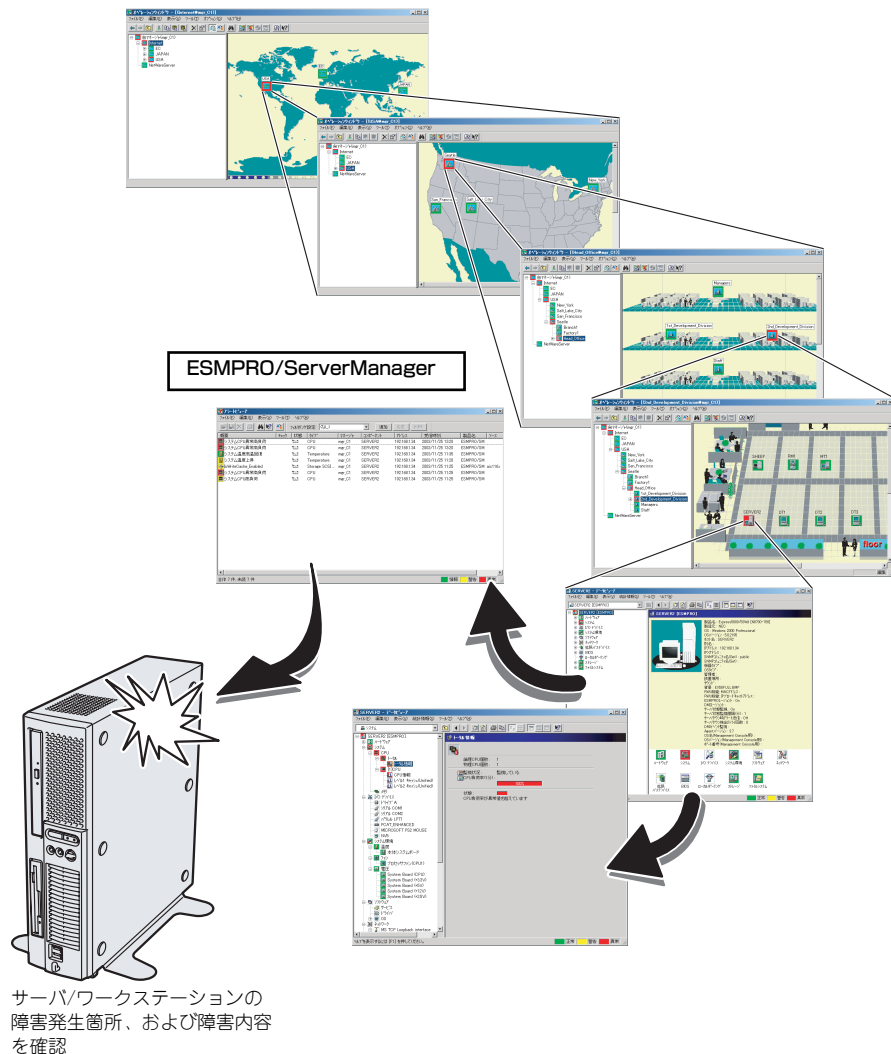
# 障害時の対処

「故障かな?」と思ったときは、ここで説明する内容について確認してください。該当することがある場合は、説明に従って正しく対処してください。

## 障害箇所の切り分け

万一、障害が発生した場合は、ESMPRO/ServerManagerを使って障害の発生箇所を確認し、障害がハードウェアによるものかソフトウェアによるものかを判断します。障害発生箇所や内容の確認ができれば、故障した部品の交換やシステム復旧などの処置を行います。

障害がハードウェア要因によるものかソフトウェア要因によるものかを判断するには、ESMPRO/ServerManagerが便利です。



## エラーメッセージ

本装置の電源をONにすると自動的に実行される自己診断機能「POST」中に何らかの異常を検出すると、ディスプレイ装置の画面にエラーメッセージが表示されます（場合によってはその対処方法も表示されます）。画面に表示されるメッセージをメモして保守サービス会社に保守を依頼してください。

OSの起動後に致命的なエラー（STOPエラーやシステムエラー）が起きるとディスプレイ装置の画面がブルーに変わり、エラーに関する詳細なメッセージが表示されます。

```
*** STOP: 0x0000000A (0x00000074, 0x00000002, 0x00000001, 0x80108E7A)
IRQL_NOT_LESS_OR_EQUAL*** Address 80108E7A has base at 8010000 _ntoskrnl.exe
```

画面のバックグラウンドの色は「ブルー」

画面に表示されたメッセージを記録して保守サービス会社に連絡してください。

また、このエラーが起きると自動的にメモリダンプを実行し任意のディレクトリにメモリダンプのデータを保存します（「メモリダンプ（デバッグ情報）の設定」（36ページを参照）。のちほど保守サービス会社の保守員からこのデータを提供していただくよう依頼される場合があります。MOやDATなどのメディアにファイルをコピーしての保守員に渡せるように準備しておいてください。



STOPエラーやシステムエラーが発生しシステムを再起動したとき、仮想メモリが不足していることを示すメッセージが表示されることがありますが、そのまま起動してください。



このファイルをメディアにコピーする前に、イベントビューアを起動して、システムイベントログでSave Dumpのイベントログが記録され、メモリダンプが保存されたことを確認してください。

このほかにもディスクやネットワーク、プリンタなど内蔵デバイスや周辺機器にエラーが起きた場合にも警告メッセージが表示されます。メッセージを記録して保守サービス会社に連絡してください。

## 管理アプリケーションからのエラーメッセージ

ESMPRO/ServerAgentを本装置へ、ESMPRO/ServerManagerを管理PCへインストールしておく、本装置に何らかの障害が起きたときに管理PCを通じて障害の内容を知ることができます。

概要	ステータス	カテゴリ	サブカテゴリ	アドレス	受信時刻	製品名	ソース
システムCPU異常高負荷	異常	CPU	mer_C1	SERVER2	192.168.1.34	2003/11/25 13:20	ESMPRO/SM
システムCPU異常高負荷	異常	CPU	mer_C1	SERVER2	192.168.1.34	2003/11/25 13:20	ESMPRO/SM
システム温度高温回復	情報	Temperature	mer_C1	SERVER2	192.168.1.34	2003/11/25 11:35	ESMPRO/SM
システム温度上昇	警告	Temperature	mer_C1	SERVER2	192.168.1.34	2003/11/25 11:28	ESMPRO/SM
WriteCache_Enabled	情報	Storage SCSI	mer_C1	SERVER2	192.168.1.34	2003/11/25 11:25	ESMPRO/SM aic116x
システムCPU異常高負荷	異常	CPU	mer_C1	SERVER2	192.168.1.34	2003/11/25 11:25	ESMPRO/SM
システムCPU高負荷	警告	CPU	mer_C1	SERVER2	192.168.1.34	2003/11/25 11:25	ESMPRO/SM

全件 7 件、未読 7 件

情報 警告 異常

ESMPROを使ったシステム構築や各種設定の詳細についてはオンラインヘルプで詳しく説明されています。

## トラブルシューティング

本装置が思うように動作しない場合は修理に出す前に次のチェックリストの内容に従って本装置をチェックしてください。リストにある症状に当てはまる項目があるときは、その後の確認、処理に従ってください。

それでも正常に動作しない場合は、ディスプレイ装置の画面に表示されたメッセージを記録してから、保守サービス会社に連絡してください。

### 本装置について

#### **【?】電源がONにならない**

- ☐ 電源が本装置に正しく供給されていますか？
  - 電源コードが本装置の電源規格に合ったコンセント（またはUPS）に接続されていることを確認してください。
  - 本装置に添付の電源コードを使用してください。また、電源コードの被覆が破れていたり、プラグ部分が折れていたりしていないことを確認してください。
  - 接続したコンセントのブレーカがONになっていることを確認してください。
  - UPSに接続している場合は、UPSの電源がONになっていること、およびUPSから電力が出力されていることを確認してください。詳しくはUPSに添付の説明書を参照してください。  
また、本装置のBIOSセットアップユーティリティでUPSとの電源連動機能の設定ができます。  
＜確認するメニュー：「Advanced」→「Power Management Setup」→「Restore on AC Power Loss」→「Power On」＞
- ☐ POWER/SLEEPスイッチを押しましたか？
  - 本装置前面にあるPOWER/SLEEPスイッチを押して電源をON（POWER/SLEEPランプ点灯）にしてください。

#### **【?】電源コードを接続したら自動的に電源がONになり、すぐにOFFになった**

- ☐ 装置の正常な動作です。
  - 本装置では、電源コードを接続後、AC電源を受電すると自動的にいったん電源がONになり、2～3秒後にOFFになります。これは装置の仕様で故障ではありません。

**【?】画面が出ない**

- ☐ DIMMが確実に実装されていますか？
  - DIMMがしっかりとコネクタに実装されているか確認してください。
- ☐ ケーブルは確実に接続されていますか？
  - 本体標準のモニタコネクタまたはオプションのグラフィックスアクセラレータ(PCI-Expressカード)のモニタコネクタにケーブルが確実に接続されている事を確認して下さい。
- ☐ オプションのグラフィックスアクセラレータをご使用の場合、グラフィックスアクセラレータボードは正しく取り付けられていますか？
  - グラフィックスアクセラレータボードの取り付け状態を確認して下さい。

**【?】POSTのメモリカウントやBIOSセットアップメニュー、OSのシステム情報で表示されるメモリ容量が物理メモリと一致しない**

- 構成によっては、実際に搭載している総物理メモリ容量より少なく表示される場合があります。故障ではありません。ただし、メモリを増設しても以前と情報が変わっていなかったり、普段の容量よりも少なくなっていたりした場合は、DIMMの故障が考えられます。
- \* OSがサポートする最大メモリ容量と利用可能なメモリ容量について
  - OSがサポートする最大メモリ容量は下記の使用OSの項を参照してください。
  - また、チップセットの仕様などにより、実際に使用できるメモリ容量は搭載メモリ容量よりも少なくなることがあります。下記の対応表を参照してください。

使用OS	本体搭載メモリ容量と使用可能メモリ容量 (最大搭載メモリ容量：4GB)	
OSの最大サポートメモリ容量：4GB Microsoft Windows XP Professional	搭載メモリ容量： ～2.5GB 使用可能メモリ容量： 搭載メモリ容量と同じ	搭載メモリ容量： 2.5GB ～ 4GB 使用可能メモリ容量： 約 2.5GB ～ 3.3GB

- なお、SETUPを起動して「Advanced」メニューの「Memory Configuration」に表示されているメモリ容量が利用可能なメモリ容量になります。

**【?】ブルー画面で電源をOFFにできない**

- ☐ 一度押しでは電源をOFFにできません。
  - ブルー画面で電源をOFFにする時は、強制電源OFF（強制シャットダウン：電源スイッチを4秒以上押し続ける）を行ってください。



Processorが異常高温になった場合、高価な部品を保護するための回路が作動します。この場合、システムは、リセット状態となり、POWER/SLEEPスイッチによる電源制御ができなくなります。電源コードを抜くことで電源をOFFにし、運用環境（周囲温度など）を確認の後、再度、電源コード接続し、電源をONにする必要があります（Processorが冷却されるまでの間（通常、5分程度）は、電源をOFFの状態にしておく必要がある場合もあります）。

**【?】 POSTが終わらない**

- ☐ メモリを搭載していますか？
  - 最低1枚のDIMMが搭載されていないと動作しません。
- ☐ 大容量のメモリを搭載していますか？
  - 搭載しているメモリサイズによってはメモリチェックで時間がかかる場合があります。しばらくお待ちください
- ☐ 起動直後にキーボードやマウスを操作していませんか？
  - 起動直後に不用意なキーボードやマウスの操作をすると、POSTは誤ってキーボードコントローラの異常を検出し、処理を停止してしまうことがあります。そのときはもう一度、起動し直してください。また、再起動直後は、BIOSの起動メッセージなどが表示されるまでキーボードやマウスを使って操作しないよう注意してください。
- ☐ 本装置で利用できるメモリ・PCIデバイスを搭載していますか？
  - 弊社が指定する機器以外は動作の保証はできません。

**【?】 内蔵デバイスや外付けデバイスにアクセスできない（または正しく動作しない）**

- ☐ ケーブルは正しく接続されていますか？
  - インタフェースケーブルや電源ケーブル（コード）が確実に接続されていることを確認してください。また接続順序が正しいかどうか確認してください。
- ☐ 電源ONの順番を間違っていないですか？
  - 外付けデバイスを接続している場合は、外付けデバイス、本装置の順に電源をONにします。
- ☐ ドライバをインストールしていますか？
  - 接続したオプションのデバイスによっては専用のデバイスドライバが必要な場合があります。デバイスに添付の説明書を参照してドライバをインストールしてください。
- ☐ BIOSの設定を間違えていませんか？
  - シリアルポート、パラレルポート、USBポートに接続しているデバイスについては、I/Oポートアドレスや動作モードの設定が必要なものもあります。デバイスに添付の説明書を参照して正しく設定してください。  
<確認するメニュー：「Advanced」→「Integrated peripherals」  
「Advanced」→「Advanced Chipset Setup」>
- ☐ ジャンパは正しく設定されていますか？
  - 接続されているデバイスにはジャンパ設定が必要なものがありますので添付の説明書を参考に、ジャンパを設定してください。



**[?] キーボードやマウスが正しく機能しない**

- ☐ ケーブルは正しく接続されていますか？
  - 本装置背面にあるコネクタに正しく接続されていることを確認してください。
  - 本装置の電源がONになっている間に接続すると正しく機能しません（USBデバイスを除く）。いったん本装置の電源をOFFにしてから正しく接続してください。
- ☐ ドライバをインストールしていますか？
  - 使用しているOSに添付の説明書を参照してキーボードやマウスのドライバがインストールされていることを確認してください（これらはOSのインストールの際に標準でインストールされます）。また、OSによってはキーボードやマウスの設定を変更できる場合があります。使用しているOSに添付の説明書を参照して正しく設定されているかどうか確認してください。

**[?] フロッピーディスクにアクセスできない**

- ☐ フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブにセットしていますか？
  - フロッピーディスクドライブに「カチッ」と音がするまで確実に差し込んでください。
- ☐ 書き込み禁止にしていますか？
  - フロッピーディスクのライトプロテクトスイッチのノッチを「書き込み可」にセットしてください。
- ☐ フォーマットしていますか？
  - フォーマット済みのフロッピーディスクを使用するか、セットしたフロッピーディスクをフォーマットしてください。フォーマットの方法については、OSに添付の説明書を参照してください。
- ☐ BIOSの設定を間違えていませんか？
  - 本装置のBIOSセットアップユーティリティでフロッピーディスクドライブを無効にすることができます。BIOSセットアップユーティリティで設定を確認してください。  
<確認するメニュー：「Advanced」→「Integrated peripherals」→  
「On Board Floppy Controller」>
- ☐ 1.2MBフォーマットのフロッピーディスクを使用していないか？
  - 本装置では、1.2MBフォーマットのフロッピーディスクは使用できません。1.44MBフォーマットか720KBフォーマットのフロッピーディスクを使用してください。

**【?】 光ディスクにアクセスできない・正しく再生できない**

- ☐ 光ディスクドライブのトレイに確実にセットしていますか？
  - トレーに確実にセットされていることを確認してください。
- ☐ 本装置で使える光ディスクですか？
  - 本装置は、CD規格に準拠しない「コピーガード付きCD」などのディスクにつきましては、CD再生機器における再生の保証はいたしかねます。
  - Macintosh専用のディスクは使用できません。
- ☐ オンボードRAIDを使用していますか？
  - RAIDを使用している場合は、あらかじめRAIDコンフィグレーションユーティリティ「LSI Software RAID Setup Utility」を使ってRAIDを構築してください。構築していない場合は、光ディスクドライブからの起動ができません。

**【?】 光ディスクドライブ内で媒体の回転音が大きい**

- ☐ いったん、ディスクを取り出し、セットし直してください。
  - 光ディスクドライブのオートバランス機構を再度機能させることで、回転音をおさえます。

**【?】 音楽CDを再生できない**

- ☐ デジタル再生の設定にしていますか？
  - 本装置に標準装備の光ディスクドライブではデジタル再生のみをサポートしています。詳しくは、「ハードウェア編」の「光ディスクドライブ」を参照してください。

**【?】 ハードディスクドライブにアクセスできない**

- ☐ 本装置で使えるハードディスクドライブですか？
  - 弊社が指定する機器を使用してください。
- ☐ ハードディスクドライブは正しく取り付けられていますか？
  - ハードディスクドライブの取り付け状態やケーブルの接続状態を確認してください。また、ハードディスクドライブを固定するネジはハードディスクドライブに添付されているネジを使用してください。

**[?] SCSI機器（外付け）にアクセスできない**

- ☐ 本装置で利用できるSCSI機器ですか？
  - 弊社が指定する機器以外は動作の保証はできません。
- ☐ SCSI機器は正しく取り付けられていますか？
  - SCSI機器の取り付け状態やケーブルの接続状態を確認してください。接続できる台数は、使用しているSCSIコントローラボードによって制限されている場合もあります。
- ☐ SCSIコントローラの取り付け・設定を間違えていませんか？
  - オプションのSCSIコントローラボードが正しく取り付けられていることを確認してください。
  - SCSIコントローラボードが持つBIOSセットアップユーティリティで正しく設定してください。詳しくはSCSIコントローラボードに添付の説明書を参照してください。
- ☐ SCSI機器の設定を間違えていませんか？
  - 外付けSCSI機器に取り付けているデバイスのSCSI IDや終端抵抗などの設定を確認してください。SCSI IDの設定についてはSCSI機器に添付の説明書を参照してください。終端の設定についてはSCSIコントローラボードに添付の説明書も併せて参照してください。

**[?] スリープ機能が働かない**

- ☐ オプションボードを実装していますか？
  - オプションボードが実装されている時はオプションボードがスリープ機能に対応しているかご確認ください。

**[?] スリープ状態から通常状態に戻らない**

- ☐ BIOSの設定を変更していませんか？
  - BIOSの「Advanced」→「Power Management Setup」→「Suspend mode」を確認してください。「S3/STR」に設定していると、スリープ状態から復帰するとき、「（電源オプションのプロパティでの）モニタの電源を切る」状態で復帰する場合があります（画面が出力されない）。その場合は、キーボードかマウスを操作してください。
  - BIOSの「Advanced」→「Power Management Setup」→「Suspend mode」を確認してください。「S3/STR」に設定していると、オプションボードによってはスリープ状態から復帰しない場合があります。その場合は、「S1/POS」に設定して使用してください。

## Windowsについて

### **【?】 Windows Vistaのインストールを行うと、以下のようなイベントログが登録される場合がある**

ソース： Microsoft-Windows-WMI  
種類： 警告  
イベントID： 63  
説明： プロバイダ WmiPerfClass は LocalSystem アカウントを使うために Windows Management Instrumentation 名前空間 root¥cimv2 に登録されました。このアカウントには特権があり、プロバイダがユーザー要求を正しく偽装しない場合はセキュリティ違反が起こる可能性があります。

→ システム運用上、問題ありません。

ソース： Microsoft-Windows-Time-Service  
種類： 警告  
イベントID： 134  
説明： 'time.windows.com,0x9' でのDNS解決エラーのため、NtpClientでタイムソースとして使う手動ピアを設定できませんでした。15分後に再試行し、それ以降は再試行間隔を2倍にします。エラー：そのようなホストは不明です。(0x80072AF9)

→ システム運用上、問題ありません。

ソース： PlugPlayManager  
種類： 警告  
イベントID： 263  
説明： サービス 'ShellHWDetection' は停止する前に、デバイス イベント通知の登録解除を行っていない可能性があります。

→ システム運用上、問題ありません。

ソース： Microsoft-Windows-Dhcp-Client  
種類： 警告  
イベントID： 1003  
説明： ネットワークアドレスが 001617818175 のネットワークカードに対して、ネットワーク(DHCPサーバー)から割り当てられたアドレスを書き換えることができませんでした。次のエラーが発生しました:この操作はユーザーによって取り消されました。ネットワークアドレス(DHCP)サーバーから引き続き、アドレスの取得を試みます。

→ システム運用上、問題ありません。

ソース： Microsoft-Windows-Search  
種類： 警告  
イベントID： 1008  
説明： Windows Search Service では、古いカタログを削除しようとしています。

→ 定期的に発生していなければ システム運用上、問題ありません。

ソース: Microsoft-Windows-SpoolerSpoolss  
種類: 警告  
イベントID: 1036  
説明: InitializePrintProvider はプロバイダ inetpp.dll で失敗しました。このエラーは、システムが不安定になるか、またはシステムリソースが不足している場合に発生することがあります

- ネットワークに接続してください。有効なネットワーク接続が確認できず、初期化できなかった場合に登録されます。ネットワークに接続しておくことで、回避することができます。

ソース: Microsoft-Windows-Security-Licensing-SLC  
種類: 警告  
イベントID: 1054  
説明: コンポーネント エラーです。hr=0x80049E00, [4, 3]

- システム運用上、問題ありません。

ソース: Microsoft-Windows-User Profiles Service  
種類: 警告  
イベントID: 1530  
説明: レジストリファイルは他のアプリケーションまたはサービスで使用されています。ファイルはすぐにアンロードされます。レジストリファイルを保持しているアプリケーションまたはサービスはこれ以降正しく機能しない可能性があります

- システム運用上、問題ありません。

ソース: Microsoft-Windows-Windows Defender  
種類: 警告  
イベントID: 3004  
説明: Windows Defenderリアルタイム保護エージェントで、変更が検出されました。これらの変更を行ったソフトウェアに潜在的リスクがないか分析することをお勧めします。これらのプログラムの動作方法に関する情報を使用して、これらのプログラムの実行を許可するか、コンピュータから削除するかを選択できます。プログラムまたはソフトウェア発行者を信頼できる場合のみ、変更を許可してください。Windows Defenderは許可された変更を元に戻せません。

- システム運用上、問題ありません。

ソース: VSS  
種類: エラー  
イベントID: 8194  
説明: ボリューム シャドウ コピー サービス エラー:  
IVssWriterCallback インターフェイスを照会中に予期しないエラーが発生しました。hr = 0x80070005。このエラーは通常、ライタまたはリクエスト プロセスのセキュリティの設定が正しくない場合に発生します。

- 定常的に発生していなければ システム運用上、問題ありません。

**【?】 Driver再セットアップ時、イベントビューアに下記内容のエラーがイベントログに登録される場合がある**

イベントID： 2

説明： LMS Service lost connection to HECI driver

- システムの再起動後に本エラーが登録されていない場合は、運用上は特に問題はありません。

**【?】 Driver再セットアップ時、イベントビューアに下記内容の警告がイベントログに登録される場合がある**

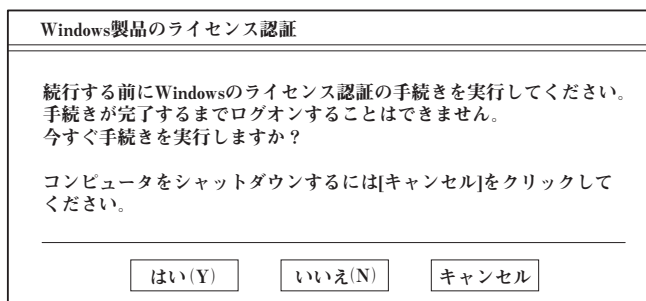
イベントID： 4

説明： The HECI interface is being disabled.

- システムの再起動後に本エラーが登録されていない場合は、運用上は特に問題はありません。

**【?】 Windows XPで以下のメッセージが表示され、ログインできなくなった**

- Windows XPでは、Windows 製品のライセンス認証手続きを完了しないまま使用していると、下記のメッセージが表示されます。  
[はい]をえらんでWindowsのライセンス認証の手続きを実行してください。

**【?】 Windows XP からWindows XP x64 Edition へアップグレードできない**

- Windows XPからWindows XP x64 Editionへアップグレードすることはできません。Windows XP x64 Editionをインストールする場合は、EXPRESSBUILDERに格納されているオンラインドキュメント「Windows XP Professional x64 Editionインストールサプリメントガイド」を参照しインストールしてください。

**【?】 Windows Vista 32-bit(x86) Edition からWindows Vista 64-bit(x64) Edition へアップグレードできない**

- Windows Vista 32-bit(x86) Edition から Windows Vista 64-bit(x64) Edition へアップグレードすることはできません。  
Windows Vista 64-bit(x64) Editionをインストールする場合は、EXPRESSBUILDERに格納されているオンラインドキュメント「Windows Vista Business インストールサプリメントガイド」を参照しインストールしてください。

**[?] イベントビューアに下記内容のWinMgmt (イベントID: 5603)の警告が登録される**

イベントID: 5603

説明: プロバイダRsop Planning Mode Providerは WMI 名前空間 root¥RSOP に登録されましたが、HostingModel プロパティが指定されませんでした。このプロバイダは LocalSystem アカウントで実行されます。このアカウントには特権があり、プロバイダがユーザー要求を正しく偽装しない場合はセキュリティ違反が起こる可能性があります。プロバイダのセキュリティの動作を確認し、プロバイダ登録の HostingModel プロパティを、必要な機能が実行可能な最小限の権限を持つアカウントに更新してください。

- 運用上、特に問題はありません。Windows XP Service Pack 2を適用すると、WMI プロバイダの潜在的なセキュリティホールに結びつく可能性があるとして登録されるイベントです。

**[?] イベントビューアに下記内容のService Control Manager (イベントID: 7024)のエラーが登録される**

イベントID: 7024

説明: Computer Browser は次のサービス固有のエラーで終了しました: 2550 (0x9F6)

- Service Pack 2を適用すると登録されるイベントです。この問題は、Windows XP SP2 で Windows ファイアウォールがインストールされることが原因で発生します。Windows ファイアウォールにより、ファイルとプリンタの共有で使用されるポートがブロックされる場合があります。これらのポートがブロックされると、Computer Browser サービスを開始できません。詳細な情報は、「<http://www.microsoft.com/Japan/>」から[リソース]-[サポート]-[サポート技術情報検索]から以下のキーワードを入力してください。

KB87536

**[?] イベントビューアに下記内容のEvtAgnt (イベントID:1003,1015) の警告が登録される**

イベントID: 1003

説明: TraceFileName パラメータがレジストリにありません。  
使用した既定のトレース ファイルは です。

イベントID: 1015

説明: TraceLevel パラメータがレジストリにありません。  
使用した既定のトレース レベルは 32 です。

- 運用上、特に問題はありません。本イベントは、SNMP サービス起動時にイベントログ拡張エージェントのログファイルに関する情報を格納したレジストリが存在していないことを示すものです。イベントログ拡張エージェントのログファイルに関するレジストリはデフォルトでは存在しないため、イベントは SNMP サービスをインストールすると記録されるようになります。詳細な情報は、「<http://www.microsoft.com/Japan/>」から[リソース]-[サポート]-[サポート技術情報検索]から以下のキーワードを入力してください。

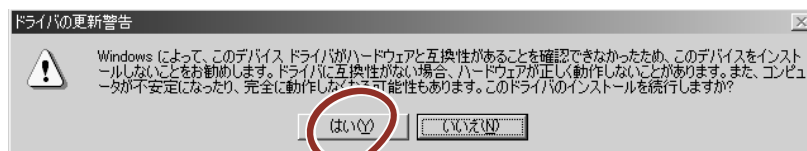
KB821447

**【?】 Windowsのインストール中、テキストベースのセットアップ画面で、文字化けしたメッセージが表示され、インストールが続行できない**

- ☐ 複数のハードディスクドライブを接続したり、RAIDコントローラ配下に複数のシステムドライブを作成してインストールを行っていませんか？
- OSをインストールするハードディスクドライブ以外のハードディスクドライブをいったん取り外した状態でインストールしてください。
- RAIDコントローラ配下のディスクにインストールする場合は、システムドライブを複数作成せず、1つだけ作成してインストールしてください。複数のシステムドライブを作成する場合は、インストール完了後、RAIDシステムのコンフィギュレーションユーティリティを使用して追加作成してください。

**【?】 Windowsのインストール後に、デバイスマネージャで日本語106/109キーボードが英語101/102キーボードと認識される**

- デバイスマネージャでは英語101/102キーボードと認識されていますが、キーボードの入力は日本語106/109キーボードの配列で行うことができます。日本語106/109キーボードに変更したいときは、以下の手順で変更してください。
- (1) [スタートメニュー]から[設定]を選択し、[コントロールパネル]を起動する。
  - (2) [管理ツール]内の[コンピュータの管理]を起動し、[デバイスマネージャ]をクリックする。
  - (3) [キーボード]をクリックし、以下のプロパティを開く。  
[101/102英語キーボード]または[Microsoft Natural PS/2キーボード]
  - (4) [ドライバ]タブの[ドライバの更新]をクリックし、[このデバイスの既知のドライバを表示してその一覧から選択する]を選択する。
  - (5) 「このデバイスクラスのハードウェアをすべて表示」を選択し、[日本語 PS/2キーボード (106/109キー)]を選択して[次へ] をクリックする。
  - (6) ウィザードに従ってドライバを更新してコンピュータを再起動する。
  - (7) 以下のメッセージが表示された場合は、[はい] をクリックして操作を続行する。





**[?] システムのアップデート時、以下のようなイベントログが登録される場合がある**

ソース：NetBT

分類：なし

種類：エラー

イベントID：4311

説明：ドライバデバイスが作成されなかったため初期化に失敗しました。詳細な情報は、「<http://go.microsoft.com/fwlink/events.asp>」の[ヘルプとサポートセンター]を参照してください。

→ 再起動後に登録されていない場合は問題ありません。登録されている場合は、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。

**[?] Windows XP Professional x64 Edition のインストールを行うと、以下のようなイベントログが登録される場合がある**

ソース：LoadPerf

種類：エラー

イベントID：3009

説明：サービス C:\WINDOWS\system32\syswow64\ipsecprf.ini (C:\WINDOWS\system32\syswow64\ipsecprf.ini)のパフォーマンスカウンタの文字列をインストールできませんでした。エラーコードはデータ セクションの最初のDWORDです。

→ システム運用上、問題ありません。

ソース：DCOM

種類：エラー

イベントID：10016

説明：コンピュータ既定権限の設定では、CLSID{555F3418-D99E-4E51-800A-6E89CFD8B1D7}をもつ COM サーバーアプリケーションに対するローカル アクティブ化アクセス許可をユーザー NT AUTHORITY\LOCAL SERVICE SID (S-1-5-19) に与えることはできません。このセキュリティのアクセス許可は、コンポーネントサービス管理ツールを使って変更できます。

→ システム運用上、問題ありません。

ソース：WinMgmt

種類：警告

イベントID：5603

説明：プロバイダ Rsop Planning Mode Provider は WMI 名前空間 root\RSOP に登録されましたが、HostingModel プロパティが指定されませんでした。このプロバイダは LocalSystem アカウントで実行されます。このアカウントには特権があり、プロバイダがユーザー要求を正しく偽装しない場合はセキュリティ違反が起こる可能性があります。プロバイダのセキュリティの動作を確認し、プロバイダ登録のHostingModel プロパティを、必要な機能が実行可能な最小限の権限を持つアカウントに更新してください。

→ システム運用上、問題ありません。

ソース：WinMgmt

種類：警告

イベントID：63

説明：プロバイダ HiPerfCooker\_v1 は LocalSystem アカウントを使うためにWMI 名前空間 Root¥WMI に登録されました。このアカウントには特権があり、プロバイダがユーザー要求を正しく偽装しない場合はセキュリティ違反が起こる可能性があります。

：プロバイダ WMIProv は LocalSystem アカウントを使うためにWMI 名前空間 Root¥WMI に登録されました。このアカウントには特権があり、プロバイダがユーザー要求を正しく偽装しない場合はセキュリティ違反が起こる可能性があります。

→ システム運用上、問題ありません。

### **【?】 OSを起動できない**

☐ フロッピーディスクをセットしていませんか？

→ フロッピーディスクを取り出して再起動してください。

☐ 「EXPRESSBUILDER」DVDをセットしていませんか？

→ 「EXPRESSBUILDER」DVDを取り出して再起動してください。

☐ OSが破損していませんか？

→ Windowsの修復プロセスを使って修復を試してください（265ページ）。

### **【?】 OSの動作が不安定**

☐ システムのアップデートを行いましたか？

→ OSをインストールした後にネットワークドライバをインストールすると動作が不安定になることがあります。34ページを参照してシステムをアップデートしてください。

### **【?】 ネットワーク上で認識されない**

☐ ケーブルを接続していますか？

→ 本装置背面にあるネットワークポートに確実に接続してください。また、使用するケーブルがネットワークインタフェースの規格に準拠したものであることを確認してください。

☐ プロトコルやサービスのセットアップを済ませていますか？

→ 本装置専用のネットワークドライバをインストールしてください。また、TCP/IPなどのプロトコルのセットアップや各種サービスが確実に設定されていることを確認してください。

☐ 転送速度の設定を間違えていませんか？

→ 本装置に標準で装備されている内蔵のLANコントローラは、転送速度が1Gbps、100Mbps、および10Mbpsのネットワークで使用することができません。この転送速度の切り替えまたは設定はOS上から行えますが、「自動検出」という機能は使用せず、「1000」、「100」、「10」のどれかに設定してください。

- システムのアップデートをしましたか？
  - オペレーティングシステムをインストールした後にネットワークドライバをインストールした場合は、システムのアップデートをしなければ正しく機能しません（34ページ）。

### **[?] 障害発生時「自動的に再起動する」の設定で、設定どおりに動作しない**

- コントロールパネルの「システム」でSTOPエラーの時に「自動的に再起動する」ように設定しても、自動的に再起動しない場合があります。
  - 再起動しない場合は、手動で再起動してください。また、この現象が起きると画面に青い縦線が入るなど、画面の表示が乱れることがあります。



【コントロールパネル】→【システム】→【詳細設定】→【起動と回復】で設定します。

### **[?] Windows VistaにてOpenGLを利用しているアプリケーションを長時間使用している場合にアプリケーションの動作が極端に遅くなる**

- Windows Vistaに対応したOpenGLを利用するアプリケーションを使用していますか？
  - Windows XP以前のOpenGLを利用するアプリケーションを使用する場合は下記の手順に従ってあらかじめWindows AERO機能をOFFにしてから使用してください。

以下の手順によりAERO機能をOFFにしてください。

1. デスクトップの右クリックメニューにある「個人設定」をクリックする。
2. 「個人設定」から「ウィンドウの色とデザイン」をクリックし、「詳細な色のオプションを設定するにはクラシックスタイルの[デザイン]のプロパティを開きます」をクリックする。
3. 「配色(C):」の設定一覧から「Windows Vistaベーシック」を選んで[適用(A)]をクリックする。

### **[?] 3Dアプリケーションがアプリケーションエラーを起こし、終了する**

- 3Dアプリケーション動作中に画面解像度、色数、リフレッシュレートを変更しませんでしたか？
  - 3Dアプリケーション動作中は、画面解像度、色数、リフレッシュレートを変更しないでください。
- スクリーンセーバーを「3D迷路（OpenGL）」に設定していませんか？
  - スクリーンセーバー「3D迷路（OpenGL）」が起動すると画面解像度を変更され、3Dアプリケーションがアプリケーションエラーを起こすことがあります。3Dアプリケーションをご使用の場合、スクリーンセーバーは「3D迷路（OpenGL）」以外に設定してください。

**【?】 Windows のコンポーネントを追加すると、Service PackのCD-ROMを要求される**

- Windows XP Service Pack 2 の場合  
Service Pack 2が含まれたWindows XP CD-ROMを使用してインストールした後に、[コントロールパネル]→[プログラムの追加と削除]→[Windows コンポーネントの追加と削除]でWindows のコンポーネントを追加すると以下のようなメッセージが表示され、CD-ROMを要求される場合があります。

'Windows XP Professional Service Pack 2 CD' のラベルの付いた CD を CD-ROM ドライブ (D:) に挿入して、[OK] をクリックしてください。

フロッピー ディスクやネットワーク サーバーなど、別の場所からファイルをコピーする場合も、[OK] をクリックしてください。

- Windows XP の バックアップCD-ROMを使用してください。バックアップ CD-ROMには、ServicePack2の内容を包含しています。

**【?】 Intel Chipset DriverおよびIntel Integrated GA Driverを適用した場合、以下のようないベントログが登録される場合がある**

ソース：Service Control Manager

種類：エラー

イベントID：7000

説明：PCI Utility サービスは次のエラーのため開始できませんでした。

このドライバの読み込みはブロックされています。

- システム運用上、問題ありません。

**【?】 システム時刻がずれる**

- NTP (Network Time Protocol) サーバなど時刻を調整するサーバを利用しない場合、実時刻に対してシステム時刻がずれることがあります。  
この場合は、NTPサーバを利用するか、Windows Timeサービスを無効に設定してください。

## CD-R/RW with DVD-ROMドライブ、DVD Super MULTIドライブについて

### **【?】** ドライブが認識されない

- ☐ SATAケーブルが正しく接続されていますか？
  - SATAケーブルが正しく接続されているか確認してください。ケーブルを調べて破損がないかを確認してください。
- ☐ 本装置のBIOSにドライブが正しく設定されていますか？
  - 本装置のBIOSの設定を確認してください。
- ☐ 電源が入っていますか？
  - 本装置の電源を入れた時、ドライブのピジーLEDが点灯することを確認してください。点灯しない場合は、電源が接続されていない可能性があります。電源ケーブルが正しく接続されているか確認してください。
- ☐ 添付のライティングソフトを使用していますか？
  - 本装置に添付のライティングソフトを使用してください。

### **【?】** 動作しない

- ☐ 電源が入っていますか？
  - 電源コネクタに電源ケーブルが正しく接続されているか確認してください。
- ☐ SATAケーブルが正しく接続されていますか？
  - SATAケーブルが正しく接続されているか確認してください。ケーブルを調べて破損がないかを確認してください。

### **【?】** 書き込みができない

- ☐ 添付のライティングソフトを使用していますか？
  - 本装置に添付のライティングソフトを使用してください。
- ☐ 推奨以外のディスクを使用していないですか？
  - 弊社推奨もしくは弊社指定のディスクを使用してください。
- ☐ ディスクが裏表に入っていないですか？
  - ディスクのトップレーベルを上にして入れ直してください。
- ☐ ハードディスクドライブの容量が不足していませんか？
  - 書き込む方式によってハードディスクドライブの使用量は違いますが、一般的には書き込むデータ量の1.2倍～2倍の空き容量が必要です。
- ☐ 電源が入っていますか？
  - 電源コネクタに電源コードが正しく接続されているか確認してください。
- ☐ SATAケーブルが正しく接続されていますか？
  - SATAケーブルが正しく接続されているか確認してください。ケーブルを調べて破損がないかを確認してください。

**【?】書き込みエラー（バッファアンダーラン）が発生する**

- ☐ ネットワーク環境下での書き込みを行ったり、マウスやウィンドウ、スクリーンセーバーを動かしたり、他のアプリケーションが立ち上がっていて、コンピュータのリソースが不足していませんか？
  - ネットワークからログオフして、書き込みを行ってください。
  - スクリーンセーバー、省電力モードを解除してください。
  - ライティングソフト以外のアプリケーションを終了してください。
- ☐ ハードディスクドライブの容量が不足していませんか？
  - 書き込む方式によってハードディスクドライブの使用量は異なりますが、一般的には書き込むデータ量の1.2倍～2倍の空き容量が必要です。
- ☐ ディスクに傷、品質不良はありませんか？
  - ディスクに傷、ほこり、品質不良がある可能性があります。ディスクを交換して確認してください。弊社推奨もしくは動作確認済みディスクを使用してください。

**【?】CD-RWディスクのデータを消去したのに書かれた跡がある**

- ☐ 問題ではありません。
  - CD-RWディスクは一度書き込みがされると、消去しても書き込んだ跡があります。

**【?】高速倍速での書き込みができない**

- ☐ ディスクが対応している倍速ですか？
  - ドライブがサポートしている倍速にあったディスクを使用してください。
- ☐ バッファアンダーランが起きてませんか？
  - 「書き込みエラー（バッファアンダーラン）が発生する」を参照してください。
- ☐ ディスクに傷や品質不良がありませんか？
  - ディスクを交換して確認してください。弊社推奨もしくは動作確認済みのディスクをご使用ください。
- ☐ ライティングソフトがドライブに対応していますか？
  - 本装置に添付のライティングソフトを使用してください。

**[?] メディアに追記できない**

- ☐ ライティングソフトが違っていませんか？
  - 先に書き込んだライティングソフトと、今回使用するライティングソフトが異なると、書き込めないことがあります（ライティングソフト互換性による）。書き込むライティングソフトは、なるべく同じものをご使用ください。
- ☐ 追記データに対して、空き容量が足りていますか？
  - CD-RやCD-RWでは1枚のディスクに書き込める情報量は、TOCおよびリードイン、リードアウトのデータを含めて650MB（74分タイプ）です。追記するデータに対して、空き容量が不足する場合は、新たに別のディスクを使用してください。
- ☐ 他社のドライブで記録したディスクを使用していないですか？
  - 本装置で書き込んだディスクを使用してください。
- ☐ ディスクアットワンスで書き込まれたディスクまたはトラックアットワンスで書き込み後、クローズされたディスクを使用していないですか？
  - 以前の書き込み時に、追記ができないように設定されています。新たに新規のディスクを使用してください。

**[?] 2回以上書き込んだディスクの前のセッションが読み出しできない**

- ☐ ライティングソフトで前のセッションが読み出されていますか？
  - ライティングソフトで前のセッションが読み出されていない状態で記録されたディスクは、原則として最後のセッションしか読み出しできません。2回目以降に書き込むときは、前のセッションを読み出し、マルチセッションとして書き込んでください。前のセッションを読み出さないと、以前に書いたセッションが無効となります。前回書き込んだデータのセッションが閉じられており、追記されたセッションが読めなくなっています。新たにディスクにデータを書き直してください。
- ☐ ディスクに不良がありませんか？
  - ディスクの表面に指紋などの汚れや傷がないか確認してください。汚れがある場合は、ディスクをクリーニングしてください。
- ☐ 音楽CDをセットしていませんか？
  - 音楽CDはコンピュータのデータと違いますので、セッションの読み出しを実行する時に音楽CDが挿入されているとエラーメッセージがでてしまいます。
- ☐ ディスクの裏表を間違えてセットしていませんか？
  - トレーからディスクを出し、ディスクのトップレーベルを上にしてセットし直してください。

**【?】読み出し時に異音が発生する**

- ☐ ディスクに不良がありませんか？
  - 他のディスクを使用してください。
- ☐ ディスクの表面にシールを貼っていませんか？
  - 表面のシールをはがしてください。はがすときは、ディスクに傷が付かないように注意してください。

**【?】リードエラー（読み出しエラー）が発生する**

- ☐ ディスクに不良がありませんか？
  - ディスクの表面に指紋などの汚れや傷がないか確認してください。汚れがある場合は、ディスクをクリーニングしてください。
- ☐ 音楽CDをセットしていませんか？
  - 音楽CDにはデータが入っていないため、エラーメッセージが表示されます。データCDを入れてください。
- ☐ ディスクの裏表を間違えてセットしていませんか？
  - トレーからディスクを出し、ディスクのトップレーベルを上にしてセットし直してください。
- ☐ パケットライトで書き込まれていませんか？
  - パケットライトで書き込まれたデータを読むためには専用のソフトウェアが必要となります。

**【?】外部スピーカから音楽CDの音が出ない**

- ☐ サウンドボードが正常に作動していますか？
  - 本装置のライン出力端子にアンプ付き外部スピーカを接続し、音楽CDをセットして再生してください。音が出ればドライブは正常です。
  - 本装置と外部スピーカがオーディオケーブルで正しく接続されているか確認してください。本装置側のケーブルがライン入力端子に接続されていると、サウンド機能は正常に動作しません。ライン出力端子に正しく接続してください。
  - サウンドドライバがインストールされているか確認してください。

**【?】本装置から出る音のレベルが低い**

- ☐ サウンドボードと本装置のオーディオケーブルが正しく接続されていますか？
  - オーディオミキサのマスター、CD、ラインのレベルが正しいか確認してください。  
いくつかのオーディオミキサがインストールされている場合でも、上記のそれぞれのレベルが正しいかを確認してください。
- ☐ ライン出力端子にヘッドフォンなどのアンプのない機器を接続していませんか？
  - アンプ付きのスピーカなどを接続してください。



**[?] ディスクトレイが出ない**

- ☐ ディスクトレイにディスクが正しくセットされていますか？
  - 強制イジェクトホールに金属製のピンを差して、ディスクトレイを出してください。
- ☐ ソフトウェアでイジェクトロックされていませんか？
  - Windows環境をお使いの場合は、CD-ROMのプロパティでイジェクトロックされていないか確認してください。

**<DVD Super MULTIドライブのみ>****[?] ディスクの読み書きが正しくできない**

- ☐ レンズにほこりが付着していませんか？
  - カメラ用のレンズブローなどを使ってレンズに付着しているほこりに軽く風を吹きかけてレンズをクリーニングしてください。

**EXPRESSBUILDERについて**

EXPRESSBUILDERから本装置を起動できない場合は、次の点について確認してください。

- ☐ POSTの実行中にEXPRESSBUILDERをセットし、再起動しましたか？
  - POSTを実行中にEXPRESSBUILDERをセットし、再起動しないとエラーメッセージが表示されたり、OSが起動したりします。
- ☐ BIOSのセットアップを間違えていませんか？
  - 本装置のBIOSセットアップユーティリティでブートデバイスの起動順序を設定することができます。BIOSセットアップユーティリティで光ディスクドライブが最初に起動するよう順序を変更してください。  
<確認するメニュー: 「Boot」 >
- ☐ Boot selection画面で『Os installation\*\*\*default\*\*\*』を選択した場合に以下のようなメッセージが表示されます。メッセージを記録して保守サービス会社に連絡してください。

メッセージ	原因
EXPRESSBUILDER は、このコンピュータを動作対象としていません。 正しいバージョンをセットして「OK」ボタンを押してください。  (「OK」ボタンを押すと再起動します)	EXPRESSBUILDER の対象マシンではありません。 対象マシンで実行してください。
マザーボード上のハードウェアに関する情報を取得できませんでした。 対象外の機種、またはマザーボードが故障している可能性があります。  (「OK」ボタンを押すと再起動します)	マザーボード交換時など、EXPRESSBUILDER が装置固有情報を見つけられない場合に表示されます。
マザーボード上のハードウェアに関する情報が不正です。 対象外の機種、またはマザーボードが故障している可能性があります。 (マザーボード交換直後にこのエラーが出たときは、「Maintenance Utility」を使ってハードウェアの情報を正しく設定してください)。	

この他にもシームレスセットアップでRAIDシステム構築時やシステム診断を実行したときに障害を検出するとエラーメッセージが表示されます。表示されたメッセージをメモし、保守サービス会社までご連絡ください。

## シームレスセットアップについて

### 【?】 ドメインに参加するように設定したのに、ワークグループでインストールされている

- LANケーブルが接続されていなかった場合、ドメイン参加設定ではなく、ワークグループ設定でインストールされます。OS起動後に、ドメイン参加を行ってください。

### 【?】 シームレスセットアップで指定したパーティションサイズでインストールされない

- ☐ インストールしたOSはWindows XPですか？
- Windows XPでシームレスセットアップを実行した場合、HDDの先頭8MBが未使用領域となる場合がありますが、システム運用上、問題ありません。

### 【?】 自動インストール中に他のパーティションが起動された、あるいは他のパーティションを起動しようとして中断した

- 「既存のパーティションを使用する」を指定してインストールしたときに流用するパーティション中にActiveなパーティションが存在した場合に発生する場合があります。流用パーティション以外のActiveなパーティションは非Active化してください。

### 【?】 イベントビューアに下記内容のEventSystemの警告が登録される

説明： COM+イベントシステムは、サブスクリプション  
(.....) でConnectionMadeメソッドでの開始に失敗しました。  
サブスクライバはHRESULT 80004001を返しました。

- 異常ではありません。<Enter>キーを押してインストールを続けてください。

### 【?】 イベントビューアに下記内容のUserenvの警告が登録される

説明： ログオフ時にアプリケーションまたはサービスがレジストリを  
まだ使用している間にWindowsはユーザー XXXXX¥xxxxのレジストリを  
保存しました。  
ユーザーのレジストリによって使用されたメモリは解放されていません。  
レジストリは使用されなくなったときにアンロードされます。  
ユーザーアカウントとしてサービスを実行していることが原因と  
考えられます。LocalServiceまたはNetworkServiceアカウントで  
サービスを構成してみてください。

説明： クラスレジストリファイルをアンロードできません。  
ほかのアプリケーションまたはサービスによって使用されています。  
ファイルが使用されなくなった後にアンロードされます。  
ユーザーのレジストリによって使用されたメモリは解放されていません。  
レジストリは使用されなくなったときにアンロードされます。  
ユーザーアカウントとしてサービスを実行していることが原因と  
考えられます。LocalServiceまたはNetworkServiceアカウントで  
サービスを構成してみてください。

- ネットワーク上の共有フォルダに接続し、エクスプローラを起動したままシャットダウンなどをした場合に登録されることがあります。エクスプローラを閉じてからシャットダウンなどをしてください。

**[?] シームレスセットアップ中、外付けハードディスクの中身が消去された**

- ☐ OSをインストールするハードディスクドライブ以外のハードディスクドライブを接続していませんか？
  - OSをインストールするハードディスクドライブ以外のハードディスクドライブを取り外し、シームレスセットアップを行ってください。

**[?] 自動インストールが中断し、セットアップ情報を入力するように求められた**

- 設定したセットアップ情報に間違いがあります。メッセージに従って正しい値を入力してください。インストールをキャンセルする必要はありません。Windowsではセットアップの最後の再起動で再度、<Enter>キーの入力を要求されることがあります。

**[?] [プログラムの終了・・・CSC Notifications Window] ダイアログボックスに「このプログラムは応答していません」というメッセージが表示される場合がある**

- ☐ 問題ありません。
  - 自動的にシャットダウンが行われ、システムのリカバリが続行されます。

**[?] プロダクトキーを入力するタイミングがない**

- ☐ Windows XPの場合
  - バックアップCD-ROMを使用してインストールする場合、プロダクトキーの入力は必要ありません。  
バックアップCD-ROM以外のOS CD-ROMを使用している場合は、プロダクトキーの入力画面がOSセットアップ中に表示されますのでメッセージに従ってプロダクトキーを入力してください。
- ☐ Windows Vistaの場合
  - バックアップDVD-ROMを使用してインストールする場合、プロダクトキーの入力は必要ありません。  
バックアップDVD-ROM以外のOS DVD-ROMを使用している場合は、プロダクトキーの入力画面が、“OSセットアップ中” および “OSインストール後に表示される[マイクロソフト ソフトウェアライセンス条項]前” に2回表示されますのでメッセージに従ってプロダクトキーを入力してください。

**[?] シームレスセットアップ時にアプリケーションが選択できない**

- ☐ 選択したアプリケーションに対応するボードが接続されていますか？または、OSをインストールするRAIDコントローラ(LSI Embeddedd MegaRAIDを含む)以外にボードを接続していませんか？
  - 異なる種類のRAIDコントローラ(LSI Embeddedd MegaRAIDを含む)の共存状態でのシームレスセットアップはサポートしておりません。OSをインストールするRAIDコントローラ以外は接続していない状態(LSI Embeddedd MegaRAIDの場合は無効の状態)でシームレスセットアップを実行してください。

## オートランで起動するメニューについて

### **【?】 オンラインドキュメントが読めない**

- ☐ Adobe Readerが正しくインストールされていますか？
  - オンラインドキュメントの文書の一部は、PDFファイル形式で提供されています。あらかじめAdobe Readerをインストールしておいてください。
- ☐ 使用しているOSは、Windows XP SP2ですか？
  - SP2にてオンラインドキュメントを表示しようとする、ブラウザ上に以下のような情報バーが表示されることがあります。  
「セキュリティ保護のため、コンピュータにアクセスできるアクティブコンテンツは表示されないよう、Internet Explorerで制限されています。オプションを表示するには、ここをクリックしてください...」  
この場合以下の手順にてドキュメントを表示させてください。
    - (1) 情報バーをクリックする。  
ショートカットメニューが現れます。
    - (2) ショートカットメニューから、「ブロックされているコンテンツを許可」を選択する。  
「セキュリティの警告」ダイアログボックスが表示されます。
    - (3) ダイアログボックスにて「はい」を選択する。

### **【?】 メニューが表示されない**

- ☐ ご使用のOSは、Windows Vistaですか？
  - Windows Vistaで実行した場合、以下のようなメッセージが表示されることがあります。  
「認識できないプログラムがこのコンピュータへアクセスを要求しています。dispatcher.exe」  
この場合、「許可する」をクリックして先へ進んでください。
- ☐ ご使用のOSは、Windows XP以降、またはWindows 2003以降ですか？
  - 本プログラムは、Windows XP以降またはWindows 2003以降のオペレーティングシステムにて動作させてください。
  - Windows 2000の場合は、あらかじめIE6.0をインストールしてください。
- ☐ <Shift>キーを押していませんか？
  - <Shift>キーを押しながらディスクをセットすると、オートラン機能がキャンセルされます。
- ☐ OSの状態は問題ありませんか？
  - レジストリ設定やディスクをセットするタイミングによっては、メニューが起動しない場合があります。そのような場合は、エクスプローラから「マイコンピュータ」を選択し、セットしたDVDドライブのアイコンをダブルクリックしてください。

**[?] メニュー項目がグレイアウトされている**

- ☐ ご使用の環境は正しいですか？
  - 実行するソフトウェアによっては、管理者権限が必要だったり、本装置上で動作することが必要だったりします。適切な環境にて実行するようにしてください。

**[?] メニューが英語で表示される**

- ☐ ご使用の環境は正しいですか？
  - オペレーティングシステムが英語バージョンの場合、メニューは英語で表示されます。日本語メニューを起動させたい場合は、日本語バージョンのオペレーティングシステムにて動作させてください。

## ExpressPicnicについて

**[?] ExpressPicnicが起動できない**

- ExpressPicnicは、「Microsoft® HTML Application host」の関連付けを行ってください。
  - (1) Windowsのスタートメニューから「ファイル名を指定して実行」を選択する。
  - 「%windir%\system32\mshta.exe /register」と入力する。

## ESMPROについて

**ESMPRO/ServerAgent (Windows版) について**

- 添付の「EXPRESSBUILDER」DVD内のオンラインドキュメント「ESMPRO/ServerAgent (Windows版) インストレーションガイド」でトラブルの回避方法やその他の補足説明が記載されています。参照してください。

## RAIDシステムについて

RAIDシステムを構成している本体装置がうまく動作しないときや、ユーティリティが正しく機能しないときは次の点について確認してください。また、該当する項目があったときは、処理方法にしたがった操作をしてください。

**[?] OSをインストールできない**

- ☐ RAIDコントローラのコンフィグレーションを行いましたか？
  - LSI Software RAID Setup Utilityを使って正しくコンフィグレーションしてください。

**【?】 OSを起動できない**

- ☐ RAIDコントローラのBIOS設定が変更されていませんか？
  - LSI Software RAID Setup Utilityを使って正しく設定してください。
- ☐ POSTでRAIDコントローラを認識していますか？
  - RAIDコントローラが正しく接続されていることを認識してから電源をonにしてください。
  - 正しく接続していても認識されない場合は、RAIDコントローラの故障が考えられます。契約されている保守サービス会社、または購入された販売店へ連絡してください。

**【?】 リビルドができない**

- ☐ リビルドするハードディスクドライブの容量が少なくありませんか？
  - 故障したハードディスクドライブと同じ容量のハードディスクドライブを使用してください。
- ☐ 論理ドライブのRAIDレベルがRAID 0ではありませんか？
  - RAID0には冗長性がないため、リビルドはできません。FAILになったハードディスクドライブを交換して、再度コンフィグレーション情報を作成し、イニシャライズを行ってからバックアップデータを使用して復旧してください。

**【?】 オートリビルドができない**

- ☐ ハードディスクドライブを交換するときに十分な時間をあけましたか？
  - オートリビルドを機能させるためには、ハードディスクドライブを取り出してから取り付けまでの間に90秒以上の時間をあけてください。
- ☐ 設定を間違えていませんか？
  - LSI Software RAID Setup Utilityを使って、オートリビルドの設定を確認してください。TOPメニュー→「Objects」→「Adapter」→「Auto Rebuild」

**【?】 ハードディスクドライブがFailになった**

- 契約されている保守サービス会社または購入された販売店へ連絡してください。

**【?】 スタンバイ・休止状態に移行できない**

- LSI Embedded MegaRAID™をご使用の場合、システム高負荷時に繰り返しスタンバイまたは休止状態への移行を実施した際に、スタンバイおよび休止状態へ移行できない場合があります。

**【?】 Universal RAID Utilityの物理デバイスの情報の一部が正しく表示されない**

- LSI Embedded MegaRAID™をご使用の場合、Universal RAID Utilityの物理デバイスの情報が一部正しく表示されない場合があります。

## 障害情報の採取

万一障害が起きた場合、次の方法でさまざまな障害発生時の情報を採取することができます。



- 以降で説明する障害情報の採取については、保守サービス会社の保守員から情報採取の依頼があったときのみ採取してください。
- 障害発生後に再起動されたとき、仮想メモリが不足していることを示すメッセージが表示されることがありますが、そのままシステムを起動してください。途中でリセットし、もう一度起動すると、障害情報が正しく採取できません。

## イベントログの採取

本装置に起きたさまざまな事象（イベント）のログを採取します。



STOPエラーやシステムエラー、ストールが起きている場合はいったん再起動してから作業を始めます。

本装置に起きたさまざまな事象（イベント）のログを採取します。

1. スタートメニューから[コントロールパネル]を選択する。

[コントロールパネル] ウィンドウが表示されます。

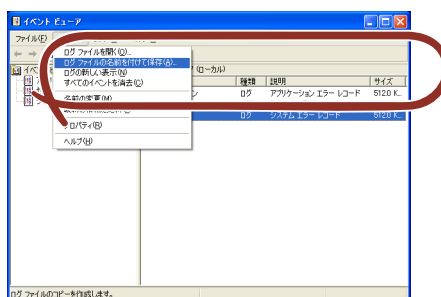
2. [コントロールパネル] ウィンドウから[パフォーマンスとメンテナンス] → [管理ツール] → [イベントビューア] の順に選択する。

クラシック表示にしている場合は、[コントロールパネル] から直接 [管理ツール] をクリックしてください。

3. 採取するログの種類を選択する。

[アプリケーションログ] には起動していたアプリケーションに関連するイベントが記録されています。[セキュリティログ] にはセキュリティに関連するイベントが記録されています。[システムログ] にはWindows XPのシステム構成要素で発生したイベントが記録されています。

4. [操作] メニューの[ログファイルの名前を付けて保存] コマンドをクリックする。



5. [ファイル名] ボックスに保存するアーカイブファイルの名前を入力する。

6. [ファイルの種類] リストボックスで保存するログファイルの形式を選択し、[OK]をクリックする。

詳細についてはWindows XPのオンラインヘルプを参照してください。

## 構成情報の採取

本装置のハードウェア構成や内部設定情報などを採取します。



STOPエラーやシステムエラー、ストールが起きている場合はいったん再起動してから作業を始めます。

1. スタートメニューから[ヘルプとサポート]を選択する。  
[ヘルプとサポート] ウィンドウが表示されます。
2. [ヘルプとサポート] ウィンドウのツールバー [サポート] をクリックし、左側に表示される [関連項目]内の [システムの詳細情報] をクリックする。
3. 右側に表示される [システムの詳細情報を表示する (Msinfo32.exe)] をクリックする。  
[システムの詳細情報] が表示されます。
4. ツールバーの [ファイル] → [エクスポート] をクリックする。
5. [ファイル名] ボックスに保存するファイルの名前を入力する。
6. [保存] をクリックする。

## ユーザーモードプロセスダンプ (ワトソン博士の診断情報) の採取

アプリケーションエラーに関連する診断情報を採取します。詳しくは「導入編」の「ユーザーモードプロセスダンプの取得方法」(45ページ)を参照してください。

## メモリダンプの採取

障害が起きたときのメモリの内容をダンプし、採取します。ダンプをDATに保存した場合は、ラベルにどのアプリケーションを使用して保存したかを示すアプリケーション名(「Windows バックアップツール」や「ARCServe」など)を記載しておいてください。診断情報の保存先は任意で設定できます。詳しくは36ページの「メモリダンプ (デバッグ情報) の設定」を参照してください。



- 保守サービス会社の保守員と相談した上で採取してください。正常に動作しているときに操作するとシステムの運用に支障をきたすおそれがあります。
- 障害の発生後に再起動したときに仮想メモリが不足していることを示すメッセージが表示される場合がありますが、そのまま起動してください。途中でリセットして起動し直すと、データを正しくダンプできない場合があります。



## システムの修復

OSを動作させるために必要なファイルが破損した場合は、システムを修復してください。



- システムの修復後、「デバイスドライバ（本体標準装備）のセットアップ（19ページ以降の説明）」、「システムのアップデート（34ページ）」を参照して必ず各種ドライバおよびシステムをアップデートしてください。
- ハードディスクドライブが認識できない場合は、システムの修復はできません。
- OSの再インストールを行っている間にシステム修復ディスクを使ったシステムの修復をするかどうかを確認するメッセージが表示されます。システム修復ディスクではなく、ディスクの中の情報を使って修復してください。

### Windows Vistaの場合

何らかの原因でシステムを起動できなくなった場合は、システム回復オプションを使用してシステムの修復を行うことができます。ただし、この方法は詳しい知識のあるユーザーや管理者以外にはお勧めできません。

詳細については、オンラインヘルプを参照してください。

### Windows XP x64 Edition の場合

何らかの原因でシステムを起動できなくなった場合は、回復コンソールを使用してシステムの修復を行います。ただし、この方法は詳しい知識のあるユーザーや管理者以外にはお勧めできません。詳細については、オンラインヘルプを参照してください。

### Windows XP の場合

何らかの原因でシステムを起動できなくなった場合は、BTO（工場組み込み出荷）によりあらかじめインストールされている『回復コンソール』を使用して修復を行います。この方法は詳しい知識のあるユーザーや管理者のもとで実施してください。詳細については、オンラインヘルプを参照してください。

# 保守ツール

保守ツールは、本製品の予防保守を行うためのツールです。

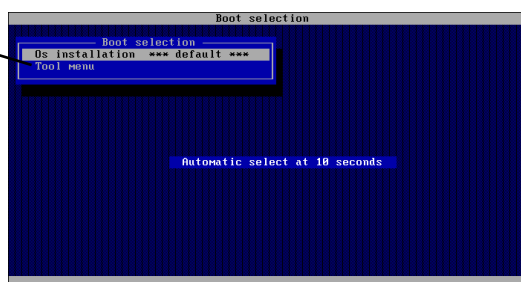
## 保守ツールの起動方法

次の手順に従って保守ツールを起動します。

1. 周辺機器、Expressサーバの順に電源をONにする。
2. Expressサーバの光ディスクドライブへ「EXPRESSBUILDER」のDVD媒体をセットする。
3. DVDをセットしたら、リセットする（<Ctrl> + <Alt> + <Delete>キーを押す）か、電源をOFF/ONしてExpressサーバを再起動する。

DVDから以下のようなEXPRESSBUILDER Boot selectionメニューが起動します。

Tool menu:  
保守ツールを使用する場合に選択します。



メニューの初期選択は「Os installation」となっています。Boot selectionメニュー表示後、10秒間操作が行われない場合は、「Os installation」が自動で起動します。

4. 「Tool menu」を選択する。

本項目を選択すると、表示言語の選択の後、以下に示すツールメニューを表示します。



5. 各ツールを選択し、起動する。

## 保守ツールの機能

保守ツールでは以下の機能を実行できます。

- **Maintenance Utility**

Maintenance Utilityではオフライン保守ユーティリティを起動します。



オフライン保守ユーティリティは通常、保守員が使用するプログラムです。オフライン保守ユーティリティを起動するとメニュー中にヘルプ（機能や操作方法を示す説明）がありますが、無理な操作をせずにオフライン保守ユーティリティの操作を熟知している保守サービス会社に連絡して、保守員の指示に従って操作してください。

オフライン保守ユーティリティでは以下の機能を実行できます。

- ー システム情報の管理

お客様の装置固有情報や設定のバックアップ（退避）をします。バックアップを行うことで、ボードの修理や交換の際に装置固有情報や設定を復旧できます。



システム情報のバックアップ方法については、48ページで説明しています。なお、リストア（復旧）は操作を熟知した保守員以外は行わないでください。

- **BIOS/FW Updating**

弊社Webサイトの以下のページで配布される各種BIOS/FW（ファームウェア）のアップデートを使用して、本装置のBIOS/FWをアップデートすることができます。

[ワークステーション サポート情報]

<http://support.express.nec.co.jp/workstation/>

各種BIOS/FWのアップデートを行う手順は、配布される「各種BIOS/FWのアップデートモジュール」に含まれる「README.TXT」に記載されています。記載内容に従ってアップデートを行ってください。「README.TXT」はWindowsのメモ帳などで読むことができます。



BIOS/FWのアップデートプログラムの動作中は本体の電源をOFFにしないでください。アップデート作業が途中で中断されるとシステムが起動できなくなります。

- **ROM-DOS Startup FD**


ROM-DOSシステムの起動用サポートディスクを作成します。

- **Test and diagnostics**

Test and diagnostics（システム診断）では本体上で各種テストを実行し、本体の機能および本体と拡張ボードなどとの接続を検査します。システム診断を実行すると、本体に応じてシステムチェック用プログラムが起動します。232ページを参照してシステムチェック用プログラムを操作してください。

# 移動と保管

本装置を移動・保管するときは次の手順に従ってください。

⚠ 注意	
	<p>装置を安全にお使いいただくために次の注意事項を必ずお守りください。火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあります。詳しくは、iii ページ以降の説明をご覧ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 指定以外の場所に設置・保管しない</li> <li>● 電源プラグを差し込んだままアース線の取り付けや取り外しをしない</li> <li>● 電源プラグを接続したままインタフェースケーブルの取り付けや取り外しをしない</li> <li>● 指定以外のインタフェースケーブルを使用しない</li> </ul>



- フロアのレイアウト変更など大掛かりな作業の場合はお買い上げの販売店または保守サービス会社に連絡してください。
- ハードディスクドライブに保存されている大切なデータはバックアップをとっておいてください。
- ハードディスクドライブを内蔵している場合はハードディスクドライブに衝撃を与えないように注意して本装置を移動させてください。

1. フロッピーディスク、CD-ROMをセットしている場合は取り出す。
2. 本装置の電源をOFF（POWER/SLEEPランプ消灯）にする。
3. 本装置に接続している電源コードをコンセントから抜く。
4. 本装置に接続しているケーブルをすべて取り外す。
5. 本装置に傷がついたり、衝撃や振動を受けたりしないようしっかりと梱包する。

# ユーザーサポート

アフターサービスをお受けになる前に、保証およびサービスの内容について確認してください。

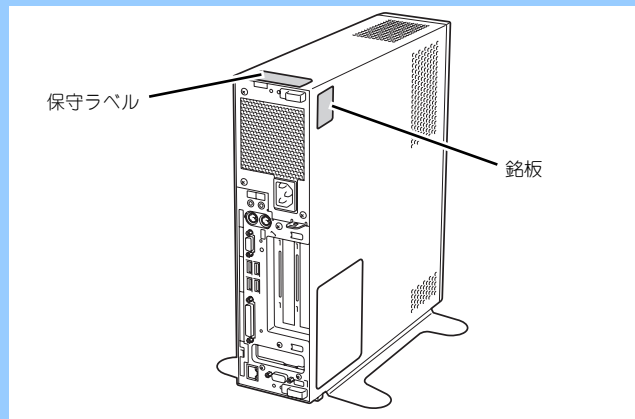
## 保証について

本装置には『保証書』が添付されています。『保証書』は販売店で所定事項を記入してお渡ししますので、記載内容を確認のうえ、大切に保管してください。保証期間中に故障が発生した場合は、『保証書』の記載内容にもとづき無償修理いたします。詳しくは『保証書』およびこの後の「保守サービスについて」をご覧ください。

保証期間後の修理についてはお買い求めの販売店、最寄りのNECまたは保守サービス会社に連絡してください。



- NEC製以外（サードパーティ）の製品、またはNECが認定していない装置やインタフェースケーブルを使用したために起きた装置の故障については、その責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本装置に、製品の形式、SERIAL No. (号機番号)、定格、製造業者名、製造国が明記された銘板が貼ってあります。また、SERIAL No. (号機番号)は保守ラベルにも明記されています。販売店にお問い合わせする際にこの内容をお伝えください。また銘板の製造番号と保証書の保証番号が一致していませんと、保証期間内に故障した場合でも、保証を受けられないことがありますのでご確認ください。万一違う場合は、販売店にご連絡ください。



## 修理に出される前に

「故障かな？」と思ったら、以下の手順を行ってください。

1. 電源コードおよび他の装置と接続しているケーブルが正しく接続されていることを確認します。
2. 「障害時の対処（235ページ）」を参照してください。該当する症状があれば記載されている処理を行ってください。
3. 本装置を操作するために必要となるソフトウェアが正しくインストールされていることを確認します。
4. 市販のウィルス検出プログラムなどで本装置をチェックしてみてください。

以上の処理を行ってもなお異常があるときは、無理な操作をせず、お買い求めの販売店、最寄りのNECまたは保守サービス会社にご連絡ください。その際に本装置のランプの表示やディスプレイ装置のアラーム表示もご確認ください。故障時のランプやディスプレイによるアラーム表示は修理の際の有用な情報となることがあります。保守サービス会社の連絡先については、付録の「保守サービス会社網一覧」をご覧ください。

なお、保証期間中の修理は必ず保証書を添えてお申し込みください。



本装置は日本国内仕様のため、NECの海外拠点で修理することはできません。ご了承ください。

## 修理に出される時は

修理に出される時は次のものを用意してください。

- ☐ 保証書
- ☐ ディスプレイ装置に表示されたメッセージのメモ
- ☐ 障害情報  
(263ページに記載している情報などが含まれます。障害情報は保守サービス会社から指示があったときのみ用意してください。)
- ☐ 本装置・周辺機器の記録

## 補修用部品について

本装置の補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後5年です。

## 保守サービスについて

保守サービスは弊社の保守サービス会社、および弊社が認定した保守サービス会社によってのみ実施されますので、純正部品の使用はもちろんのこと、技術力においてもご安心の上、ご都合に合わせてご利用いただけます。

なお、お客様が保守サービスをお受けになる際のご相談は、弊社営業担当または代理店で承っておりますのでご利用ください。保守サービスは、お客様に合わせて2種類用意しております。

### 保守サービスメニュー

契約保守サービス	お客様の障害コールにより優先的に技術者を派遣し、修理にあたります。この保守方式は、装置に応じた一定料金で保守サービスを実施させていただくもので、お客様との間に維持保守契約を結ばさせていただきます。さまざまな保守サービスを用意しています。詳しくはこの後の説明をご覧ください。
未契約修理	お客様の障害コールにより、技術者を派遣し、修理にあたります。保守または修理料金はその都度精算する方式で、作業の内容によって異なります。

NECでは、お客様に合わせてさまざまな契約保守サービスを用意しております。サービスの詳細については、「ワークステーション サポート情報 (<http://support.express.nec.co.jp/workstation/>)」をご覧ください。



- サービスを受けるためには事前の契約が必要です。
- サービス料金は契約する日数/時間帯により異なります。

## 情報サービスについて

本装置に関するご質問・ご相談は「ファーストコンタクトセンター」でお受けしています。

※ 電話番号のかけまちがいが増えております。番号をよくお確かめの上、おかけください。

ファーストコンタクトセンター  
TEL. 03-3455-5800（代表）

受付時間／9:00～12:00、13:00～17:00 月曜日～金曜日（祝祭日を除く）

お客様の装置本体を監視し、障害が発生した際に保守拠点からお客様に連絡する「エクスプレス通報サービス」の申し込みにに関するご質問・ご相談は「エクスプレス受付センター」でお受けしています。

※ 電話番号のかけまちがいが増えております。番号をよくお確かめの上、おかけください。

エクスプレス受付センター  
TEL. 0120-22-3042

受付時間／9:00～17:00 月曜日～金曜日（祝祭日を除く）

インターネットでも情報を提供しています。

【NECコーポレートサイト】 <http://www.nec.co.jp/>

製品情報やサポート情報など、本製品に関する最新情報を掲載しています。

<http://club.express.nec.co.jp/>

『Club Express』：『Club Express会員』への登録をご案内しています。Express5800シリーズをご利用になる上で役立つ情報サービスの詳細をご紹介します。

<http://www.fielding.co.jp/>

NECフィールディング（株）ホームページ：メンテナンス、ソリューション、用品、施設工事などの情報をご紹介します。